

教科	国語	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
言葉で伝え合おう 自分に質問してみよう	2	○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。 ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。 ○意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動ができる。 ○質問に答えることで、自分の	○質問に答えることを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。	○クラスのみんなから出てきた質問を通して、自分のことをふり返りながら、その質問に答える内容を検討している。 ○質問に対して自分の考えを話したり、友達の答えを聞いた	○クラスの友達から出てきた質問に答えることで、自分のことをふり返ったり、友達の考えに耳を傾けたりしている。
言葉で伝え合おう 風景 純銀もざいく	1	○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語彙を豊かにすることができる。 ○詩を音読したり朗読したりすることができる。 ○詩に描かれた情景を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。 ○詩を読み、情景を想像したり、そのことについて考えたことを伝え合ったりする活動ができる。	○「いちめんのなのはな」の繰り返しなど、言葉の使い方に対する感覚を意識して、語彙を豊かにしている。 ○情景を想像しながら、音読したり朗読したりしている。	○一面に広がる菜の花畑の情景を具体的に想像したり、「いちめんのなのはな」の繰り返しの表現の効果を考えたりしている。 ○「風景 純銀もざいく」を読み、情景を想像したり、そのことについて考えたことを伝え合ったりしている。	○「いちめんのなのはな」を見つめる思いや、繰り返しによる表現のおもしろさに気をつけて音読したり、朗読したり、言葉を伝え合ったりしている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

言葉で伝え合おう あの坂をのぼれば	2	○話や文章の構成や展開の特徴について理解することができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり, 表現の効果を考えたりすることができる。 ○物語を読み, 内容を説明したり, 読んだ感想を伝え合ったりする活動ができる。	○淡々とした, 同じ場面の繰り返しのよう展開となっている物語の特徴について理解している。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○同じような場面の繰り返しのの中で, 移り変わっていく「少年」の心の動きを具体的に想像したり, その表現の効果を考えたりしている。 ○物語を読み, 内容を説明したり, すてきだと思う情景について伝え合ったりしている。	○同じような場面の繰り返しのの中で, 移り変わっていく「少年」の心の動きを具体的に想像したり, その思いを声に出したりして物語を読んでいる。
考えや意見を図に表して, 整理してみましょう。 図に表して考えよう	3	○情報と情報との関係付けの仕方, 図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。 ○目的や意図に応じて, 考えたことや意見を整理する図を使って, 集めた材料を分類したり関係付けたりして, 伝えたいことを明確にすることができる。 ○自分の考えをまとめるために, 考えや意見を図に表す活動ができる。	○情報と情報との関係や, 語句と語句との関係を図に表して整理している。	○自分の考えをまとめるために, 図を使って, 考えたことや意見を分類したり関係付けたりして, 整理している。 ○自分の考えをまとめるために, 考えや意見を図に表している。	○図や記号を使って, 自分の考えや意見をまとめたり, ノートを整理したりしている。
一 筆者のものの見方や感じ方などにふれ, 随筆に親しもう 春はあけぼの	3	○親しみやすい古文を音読するなどして, 言葉の響きやリズムに親しむことができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○目的や意図に応じて, 感じたことや考えたことなどから書くことを選び, 集めた材料を分類したり関係付けたりして, 伝えたいことを明確にすることができる。 ○文章に対する感想や音目を	○「春はあけぼの」を音読して, 言葉の響きやリズムに親しんでいる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○「私の枕草子」を書くために季節を選び, 季節の「言葉マップ」をもとに, 伝えたいことを明確にしている。 ○「私の枕草子」を友達と読み合い, 自分の文章のよいところや, 自分にはない感じ方を見つけている。 ○季節の「言葉マップ」から選んだ言葉を使って, 経験をもとに, 感じたり考えたりしたことを文章に書いている。	○「春はあけぼの」の大体を知り, 音読してその響きやリズムを味わうとともに, それを参考に「私の枕草子」を書いている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

一 筆者のものの見方や感じ方などにふれ、随筆に親しもう 薫風／「迷う」	3	○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○事実と感想、意見などとの関係を叙述をもとに押さえ、文章全体の構成を捉えてその大体を理解することができる。 ○目的に応じて必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。	○随筆の特徴やその構成・展開について理解している。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○事実と感想、意見などとの関係を叙述をもとに押さえ、随筆の特徴や構成を捉えてその大体を理解している。 ○事例に対する筆者独自の思いや考えを見つけたり、論の進め方について考えたりしている。 ○随筆を読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりしている。	○随筆に書かれている筆者のものの見方、感じ方、考え方を読むとともに、優れた描写について自分の考えをまとめようとしている。
一 筆者のものの見方や感じ方などにふれ、随筆に親しもう 随筆を書こう	5	○思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使うとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。 ○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類し、	○できごとに対しての考えや思いに関わる語句の量を増し、随筆の中で使うとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 ○比喩や反復、情景描写やできごとに対する考えなど、表現の工夫に気づいている。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○随筆を書くにあたって、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。 ○読む人に伝わる随筆となるように、文章全体の構成や展開を考えている。 ○心を動かされた体験や事例について、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について随筆に書いている。	○体験や事例をもとに考えをまとめ、組み立てを作っている。 ○自分のものの見方や感じ方、考え方を見つめて、自分の言葉で読む人に伝わるように随筆を書いている。
漢字の広場① 三字以上の熟語の構成	1	○語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすることができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○三字以上の熟語の構成や長い熟語を省略した言葉について理解し、語彙を豊かにしようとする。	○三字以上の熟語の構成について理解している。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。		○三字以上の熟語の構成について理解し、語彙を豊かにしている。 ○長い言葉を省略して短くした言葉があることを理解している。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

五年生で学んだ漢字①	1	○第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ○筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。 ○5年生で学んだ漢字を使って、美術館の中の様子を書く活動ができる。 ○48ページの絵の中の言葉と5年生で学んだ漢字をもとに、美術館の中の様子を具体的に文	○5年生で学習した漢字を使って文章を書いている。	○筋道の通った文となるように、文全体の構成を考えている。 ○48ページの5年生で学んだ漢字を使って、美術館の中の様子を書いている。	○48ページの絵の中の言葉と5年生で学んだ漢字をもとに、美術館の中の様子を具体的に文章に書いている。
二 筆者の考えを読み、説明の仕方の特徴をとらえよう 雪は新しいエネルギー	5	○原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。 ○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解することができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○事実と感想、意見などとの関係を叙述をもとに押さえ、文章全体の構成を捉えて内容を把握	○化石燃料と温暖化など、情報と情報との関係について理解している。 ○雪の冷熱エネルギーによる雪国の暮らし方の変化や利点について、図やグラフ、写真などを使った表し方を理解している。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○雪の冷熱エネルギーの事例と利点の関係など、叙述をもとに押さえ、筆者の主張を把握している。 ○筆者の主張を理解するために、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、筆者の考え方について考えたりしている。 ○「雪は新しいエネルギー」を読み、わかったことや考えたことを話し合ったり文章にまとめ	○雪のエネルギー利用について、どのような事例と利点があるかまとめている。 ○雪のエネルギー利用の可能性について、筆者の論の展開を考えている。 ○筆者の説明の仕方の特徴について考えながら、雪のエネルギー利用についての筆者の考えをつかんでいる。
主語と述語の対応をみる	2	○文の中での語句の係り方や語順について理解することができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○主語と述語が正しく対応する文にするために、どのように直したらよいか理解しようとする。	○文の中での主語と述語の対応や語順について理解している。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。		○主語と述語が正しく対応するように考えて、文を書き直している。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

三 立場を決めて、主張を明確にしよう 地域の防災について話し合おう	6	○思考に関わる語句の量を増し、話の中で使うとともに、語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにすることができる。 ○新しく習う漢字を正しく読み書きすることができる。 ○互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。 ○事実や経験をもとに、感じた	○思考に関わる語句の量を増し、話の中で使うとともに、語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにしている。 ○新しく習う漢字を正しく読み書きしている。	○「地域の防災」について互いの立場を明確にしながらパネルディスカッションを行い、考えを広げたりまとめたりしている。 ○「地域の防災」を調べるために地域の事実や自分たちの経験をもとに、主張をまとめ、組み立てる活動をしている。	○「地域の防災」についてのパネルディスカッションを通して、自分の考えを広げたり、深めたりしている。
三 立場を決めて、主張を明確にしよう パンフレットで知らせよう	4	○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。 ○筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。 ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し	○地域の防災に関わる事象と自分たちとの関係について、図や写真などを使って表している。	○見る人にわかりやすくなるように、パンフレットの構成や展開を考えている。 ○地域の防災についてわかりやすく知らせるために、簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別するなど、書き表し方を工夫している。 ○地域の防災に関わる写真や資料を引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の	○パンフレットに書く分担を決め、わかりやすく見やすい構成を考えている。 ○地域の防災について知らせたいことについて、読む人のことを考えて、わかりやすいパンフレットを作っている。
季節に合った言葉や気になる言葉を集めましょう。 雨	1	○語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づくことができる。 ○新しく習う漢字を正しく読み書きすることができる。 ○季節に合った言葉や気になる言葉を集め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる。	○「雨」に関わる言葉の由来などに関心をもつとともに、「雨」という言葉が暮らしの中でどのように使われてきたかに気づいている。 ○新しく習う漢字を正しく読み書きしている。	○「雨」に関わる言葉を集め、様子や使われている場面・できごとなどに分類したり関係付けたりして、「言葉ノート」を作っている。 ○短歌や俳句などに使われている季節に合った言葉について、感じたことや想像したことを書いている。	○季節に関わる言葉や気になる言葉・興味のある言葉などを集めて、「言葉ノート」を作っている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

世代による言葉の違い	1	○時間の経過による言葉の変化や, 世代による言葉の違いに気づくことができる。 ○世代による言葉の違いについて理解し, 相手や場面に合わせて使い分けようとする。	○言葉は時代とともに変化することや世代による言葉の違いに気づいている。		○世代による言葉の違いについて理解し, 相手や場面に合わせて使い分けている。
漢字の広場② 複数の意味をもつ漢字	1	○漢字の由来, 特質などについて理解することができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○複数の意味をもつ漢字について理解し, 語彙を豊かにしようとする。	○漢字には複数の意味をもつものがあることを理解している。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。		○複数の意味をもつ漢字について理解し, 語彙を豊かにしている。 ○複数の意味をもつ漢字を使った言葉は, 元の漢字の意味を表すことを理解している。
五年生で学んだ漢字②	1	○第5学年までに配当されている漢字を書き, 文や文章の中で使うことができる。 ○筋道の通った文章となるように, 文章全体の構成や展開を考えることができる。 ○5年生で学んだ漢字を使って, 工場の中の様子を書く活動ができる。 ○82ページの絵の中の言葉と5年生で学んだ漢字をもとに, 工	○5年生で学習した漢字を使って文章を書いている。	○筋道の通った文となるように, 文全体の構成を考えている。 ○82ページの5年生で学んだ漢字を使って, 工場の中の様子を書いている。	○82ページの絵の中の言葉と5年生で学んだ漢字をもとに, 工場の中の様子を具体的に文章に書いている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

四 すぐれた表現の効果を考え、登場人物の心情を読もう 川とノリオ	7	○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。 ○文章を音読したり朗読したりすることができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○登場人物の相互関係や心情などについて、描写をもとに捉えることができる。 ○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。	○比喩や反復・体言止めなどの表現の工夫に気づいている。 ○心に残った場面を音読したり朗読したりしている。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○ノリオと家族との関わりや心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 ○ノリオの心情の変化や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 ○ノリオの心情の変化や「川」に象徴されるものを読むことを通して、自分の生き方などについて考えたことを伝え合っている。	○いつ・どのようなことが起こったのかを表にし、その時の川や川っぴちの様子について考えている。 ○特徴的な表現と、その効果について話し合っている。 ○時代の流れに翻弄される人間の生き方を、ノリオと家族の生き様を中心に読みながら、心に残った表現について、感想を話し合っている。
友達の話进行くわしく引き出しましょう。 教えて！ あなたのとおき	2	○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。 ○インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動をしている。	○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○話し手の思いをくわしく聞き出して話の内容を捉え、自分の考えや経験と比較しながら、自分の考えをまとめている。 ○インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動をしている。	○「とおき」についての相手の思いをくわしく引き出し、自分の考えや経験と比較しながら、自分の考えをまとめている。
詩を味わおう イナゴ	1	○語感や言葉の使い方に対する感覚を深め、語彙を豊かにすることができる。 ○登場人物の心情などについて、描写をもとに捉えることができる。 ○詩を読み、内容を説明したり、考えたことを伝え合ったりする活動ができる。 ○凝縮された言葉で描かれた情景を想像しながら、そこに象	○情景を凝縮した言葉や語感に対する感覚を深め、語彙を豊かにしている。	○「イナゴ」と向き合う「ぼく」の心情について、象徴化された表現をもとに捉えている。 ○詩を読み、情景や心情を想像したり、考えたことを伝え合ったりしている。	○凝縮された言葉で描かれた情景を想像しながら、そこに象徴化された自然界を読み、それに対する自分の考えをまとめている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

生活の中から、「知恵の言葉」を探しましょう。 「知恵の言葉」を集めよう	1	○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。 ○情報と日常生活の関係について理解することができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動ができる。 ○生活の中から「知恵の言葉」	○「知恵の言葉」を集め、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。 ○日常生活の場面と「知恵の言葉」との関係について理解している。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○身の回りを振り返り、自分で考えた「知恵の言葉」を書く活動をしている。	○生活の中から「知恵の言葉」を探したり、自分で考えて「知恵の言葉」を作ったりしている。
五 てんかいを考えて、表現を工夫して書こう 物語を作ろう	5	○話や文章の構成や展開について理解することができる。 ○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。 ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、自分の考えが伝わるよう	○物語の構成や展開について理解している。 ○人物や場面の様子を効果的に表現する工夫に気づいている。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○読者にも伝わるように、物語の構成や展開を考えている。 ○推敲しながら、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、読者にも伝わるように書き表し方を工夫している。 ○物語の構成や表現などに着目して、推敲している。 ○物語を作り、構成などを工夫して想像したことを書く活動をしている。	○写真の中から人物を決め、想像を広げている。 ○読者の視点も考えながら、物語の展開を考えている。 ○写真から想像を広げ、人物の動きや心情が読者にも伝わるように、構成や表現を工夫して物語を書いている。
会話を広げる	3	○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。 ○話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。 ○互いの立場や意図を明確にしながらか話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。	○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。	○話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、協力し合って会話を進めている。 ○互いの立場や意図を明確にしながらか話し合い、お互いの理解を深めている。	○お互いの理解を深めるために会話を広げていくには、どのようなことが大事なのか、確かめている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

漢字の広場③ 熟語の使い分け	1	○語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすることができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○同じような意味の熟語でも、文によってふさわしい場合とそうでない場合があることを理解し、使い分けようとする。	○同じような意味の熟語でも、文によっては使い分ける必要があることを理解し、語彙を豊かにしている。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。		○同じような意味の熟語でも、文によってふさわしい場合とそうでない場合があることを理解し、使い分けようとしている。
五年生で学んだ漢字③	1	○第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。 ○五年生で学んだ漢字を使って、絵の中の様子を書く活動ができる。 ○124ページの絵の中の言葉と五年生で学んだ漢字をもとに、絵の中の様子を具体的に文章	○五年生で学習した漢字を使って文章を書いている。	○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。 ○124ページの五年生で学んだ漢字を使って、絵の中の様子を書いている。	○124ページの絵の中の言葉と五年生で学んだ漢字をもとに、絵の中の様子を具体的に文章に書いている。
一「心の世界」について考え、自分の考えを伝え合おう あなたはどう感じる？	1	○原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。 ○情報と情報との関係付けの仕方を理解することができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。 ○事象を説明したり意見を述べ	○6・7ページの2つの会話例について、その「ずれ」を理解している。 ○2つの会話例の「ずれ」がどこからきているか理解している。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○2つの会話例の「ずれ」がどこからきているか、自分の考えをまとめている。 ○2つの会話例を読み、考えたことや伝えたいことを書いている。	○6・7ページの会話の例から、「感じ方のちがいを」理解し、それがどこからくるのかを話し合っている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

一「心の世界」について考え、自分の考えを伝え合おう ぼくの世界、君の世界	7	○原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。 ○情報と情報との関係付けの仕方を理解し使うことができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○目的に応じて、文章を読んで必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。	○筆者の考えと事例との関係について理解している。 ○事例と事例との関係付けの仕方を理解し使っている。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○文章を読んで、筆者が問題を解き明かしていく論の進め方について考えている。 ○2つの事例から筆者がどのようなことを言いたかったか、自分の考えをまとめている。 ○説明文を読み、わかったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりしている。 ○筆者の考えを読み取り、友達と話し合いながらノートにまとめている。	○「昔から大真面目に議論されてきた問題」を解き明かすための2つの事例をノートにまとめている。 ○筆者が「問題」を解き明かしていく考えの進め方に気づいている。 ○者の示した事例と考えの要旨を正確に捉え、筆者の考えを読みながら、自分自身の「心の世界」について考えている。
一「心の世界」について考え、自分の考えを伝え合おう 「うれしさ」って何？ 一哲学対話をしよう	4	○原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。 ○互いの立場や意図を明確にししながら計画的に話し合い、考	○考えと事例との関係について理解している。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○質問をし合いながら、お互いの「うれしさ」を感じた体験を引き出し合っている。 ○分類を発表し合った後感想を交流することで、考えを広げたりまとめたりしている。 ○それぞれの「うれしさ」を感じる体験を伝えるなどして話し合う活動をしている。 ○「うれしさ」について、自分の体験が伝わるようなカードの書き表し方を工夫している。	○話し合いを通して、「うれしさ」の体験をくわしく引き出している。 ○「哲学対話」の進め方について理解し、「うれしさ」についての自分の考えをまとめようとしている。
「変わっていく言葉」について、考えたことをまとめましょう。 言葉は時代とともに	5	○古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。 ○語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき理解することができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○万葉集から芥川龍之介まで、解説した文章を参考に、作品の内容の大体を知り、昔の人のものの見方や感じ方を理解している。 ○語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、理解している。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○調べたことをもとに、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ○友達同士で文章に対する感想や意見を伝え合っている。 ○言葉について調べたことをもとに、考えたことや伝えたいことを書く活動をしている。	○古文や近代以降の文語調の文章を読みながら、人々と言葉とのふれ合いについて考え、「言葉」について気づいたことを文章にまとめている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

二 説得力のある文章を書こう 自分の考えを発信しよう	6	○文と文との接続の関係, 文章の構成や展開について理解することができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○事実と感想, 意見とを区別して書き, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 ○引用したり, 図表やグラフなどを用いたりして, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。	○理由や根拠を示して記述したり, 文章の構成について理解したりしている。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○事実と意見とを区別して書き, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ○課題について取材したことから引用したり, 図表やグラフなどを用いたりして書き表し方を工夫している。 ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して, 文章を整えている。 ○友達と読み合い, 文章に対する感想や意見を伝え合っている。	○意見文を書くために, 日頃感じたり考えたりしていることから課題を決め, ていねいに取材している。 ○自分が見つけた課題について, 理由や根拠をふまえ, 構成や表現を工夫して説得力のある意見文を書いている。
漢字の広場④ 音を表す部分	1	○第6学年までに配当されている漢字を読んだり, 文や文章の中で使ったりすることができる。 ○語句の由来などに関心をもつとともに, 漢字の由来, 特質などについて理解することができる。 ○漢字には, 音を表す部分があることを理解し, 同じ音を表す部分をもつ漢字の仲間を探したり, それぞれの漢字を使った熟語を集めたりしようとする。	○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。 ○語句の由来などに関心をもつとともに, 漢字には, 音を表す部分があることを理解している。		○漢字には, 音を表す部分があることを理解し, 同じ音を表す部分をもつ漢字の仲間を探したり, それぞれの漢字を使った熟語を集めたりしている。
五年生で学んだ漢字④		○第5学年までに配当されている漢字を書き, 文や文章の中で使うことができる。 ○筋道の通った文章となるように, 文章全体の構成や展開を考えることができる。 ○5年生で学んだ漢字を使って, 学校生活の様子を書く活動ができる。 ○40ページの絵の中の言葉と5年生で学んだ漢字をもとに, 学	○5年生で学習した漢字を使って文章を書いている。	○筋道の通った文となるように, 文全体の構成を考えている。 ○40ページの5年生で学んだ漢字を使って, 学校生活で経験したことを思い出し, 感じたり考えたりしたことを書いている。	○40ページの絵の中の言葉と5年生で学んだ漢字をもとに, 学校生活をふり返り, その様子を具体的に文章に書いている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

三 登場人物の変化を読み、自分の考えをまとめよう きつねの窓	8	○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語彙を豊かにすることができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。 ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。 ○物語を読み、内容を説明した	○「ききょうの花畑」や「なつかしい庭」の描写に対する感覚を意識して、語彙を豊かにしている。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○「ぼく」と子ぎつねの心情変化を具体的に想像したり、情景を描いた表現の効果を考えたりしている。 ○子ぎつねや「ぼく」の「窓」に映ったものや、それについて気づいたことなどをまとめている。 ○自分の「窓」に見たいものを想像することで、自分の生き方などについて考えたことを伝え合う活動をしている。 ○自分の「窓」に見たいもの、そ	○子ぎつねに対する「ぼく」の心情の変化を考えている。 ○不思議な世界に行ったことで、「ぼく」はどのように変化したか話し合っている。 ○作品の構成を確かめるとともに、「ぼく」と子ぎつねとの関わりや気持ちの移り変わりを読み、「窓」に映したいものを通して自分を考えようとしている。
書評を書いて話し合おう	6	○話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができる。 ○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくことができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。 ○詩や物語、伝記などを読み	○発表するときの言葉と書評を書くときの言葉の違いに気づいている。 ○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づいている。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○読んだ本について、書評にまとめている。 ○読書を通して、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動をしている。 ○友達の書評に対する感想を伝えるために、話の内容を考えている。 ○具体的な事例を挙げて、書評に対する自分の考えが伝わるように表現を工夫している。 ○自分の考えを話したり、友達	○今までの読書を振り返り、好きな本を選んで書評を書き、友達と読み合い、感想を交流している。
敬意を表す言い方	2	○敬意を表す言い方を理解し、日常生活で使い慣れることができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○敬意を表す言い方を理解し、その場にふさわしい言い方を使い分けようとする。	○敬意を表す言い方を理解し、日常生活で使い慣れている。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。		○敬意を表す言い方を理解し、その場にふさわしい言い方を使い分けようとしている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

言葉と私たち	2	○漢字と仮名を適切に使い分けたり, 送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いたりすることができる。 ○目的や意図に応じて, 話題を決め, 集めた材料を分類したり関係付けたりして, 伝え合う内容を検討することができる。 ○意見や提案など自分の考えを話したり, それらを聞いたりする活動ができる。 ○目的や意図に応じて, 考えた	○漢字と仮名を適切に使い分けたり, 送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いたりしている。	○3人の文章を読み, 言葉と私たちについて, 伝え合う内容を考えている。 ○3人の文章を読んだ感想を話したり, それらを聞いたりする活動をしている。 ○言葉に対する自分の思いを, 3人の文章を手がかりに文章に表している。 ○言葉に対する自分の思いを, 簡単に書いたり詳しく書いたりするなど, 自分の考えが伝	○言葉に対する3人の文章を読み, 今までの自分の言語生活をふり返りながら, 言葉に対する自分の思いを考えようとしている。
漢字の広場⑤ 同じ訓をもつ漢字	1	○言葉の使い方に対する感覚を意識して, 語や語句を使うことができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○同じ訓をもつ漢字について, 前後の言葉を手がかりに, どの漢字を使うのが正しいかを考えたり, 辞典で確かめたりして, 文や文章の中で使おうとする。	○同じ訓をもつ漢字に対する意味や使い方を意識して, 語や語句を使っている。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。		○同じ訓をもつ漢字について, 前後の言葉を手がかりに, どの漢字を使うのが正しいかを考えたり, 辞典で確かめたりして, 文や文章の中で使っている。
五年生で学んだ漢字⑤	1	○第5学年までに配当されている漢字を書き, 文や文章の中で使うことができる。 ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど, 書き表し方を工夫することができる。 ○5年生で学んだ漢字を使って, 絵に描かれた場面を書く活動ができる。 ○76ページの絵の中の言葉と5	○5年生で学習した漢字を使って文章を書いている。	○絵の中の言葉や漢字を使って, 絵に描かれた場面を簡単に書いたり詳しく書いたり書き表し方を工夫している。 ○76ページの5年生で学んだ漢字を使って, 絵に描かれた場面を書いている。	○76ページの絵の中の言葉と5年生で学んだ漢字をもとに, 絵に描かれた場面を具体的に文章に書いている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

四 伝記を読んで、人物の生き方について自分の考えをまとめよう 伊能忠敬	11	○語句と語句との関係、語句の構成について理解し、語彙を豊かにすることができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○人物像や文章の全体像を具体的に想像することができる。 ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。 ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを	○語句と語句との関係、語句の構成について理解し、語彙を豊かにしている。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	○伊能忠敬の行動(いつ・どのようなこと)を具体的に想像している。 ○伊能忠敬の人物像について、自分の考えをまとめている。 ○伊能忠敬の人物像について、考えをまとめたことを交流し、自分の考えを広げている。 ○伊能忠敬の生き方を読み、自分の生き方に重ねて考えたことを伝え合っている。	○伊能忠敬の行動や主なできごとを年表にし、その人生について考えている。 ○伊能忠敬の人物像について話し合っている。 ○伊能忠敬の行動や生き方について、自分の考えをはっきりさせながら読み、その人物像や自分の考えをポスターにまとめて友達と読み合おうとしている。
日本語の文字	2	○仮名及び漢字の由来、特質などについて理解することができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○漢字や平仮名・片仮名、ローマ字などの由来や特質を理解し、それらを使い分け、組み合わせることで文章を書こうとする。	○仮名及び漢字、ローマ字の由来、特質などについて理解している。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。		○漢字や平仮名・片仮名、ローマ字などの由来や特質を理解し、それらを使い分け、組み合わせることで文章を書いている。
漢字の広場⑥ さまざまな読み方	1	○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○さまざまな読み方のある言葉の意味や使い方を知り、言葉について理解を深めようとする。	○さまざまな読み方のある言葉の意味や使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 ○新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。		○さまざまな読み方のある言葉の意味や使い方を知り、言葉について理解を深めている。

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

五 出会った言葉をふり返ろう ひろがる言葉	9	○話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができる。 ○目的や意図に応じて、話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。 ○互いの立場や意図を明確にしながら話し合い、考えをまとめることができる。 ○意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動ができる。 ○目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 ○文章全体の構成や展開が明	○話し言葉と書き言葉との違いに気づき、使い分けている。	○「卒業式で自分におくりたい言葉」を選ぶため、6年間の学習をふり返り、伝え合う内容を検討している。 ○「言葉」に対する友達の思いに寄り添いながら話し合い、考えをまとめている。 ○「言葉」に寄せる自分の思いを話したり、友達の思いを聞いたりする活動をしている。 ○選んだ「言葉」への自分の思いが伝わるように書き表し方を工夫している。 ○選んだ「言葉」を伝え合うことを通して、感想を伝え合っている。 ○「卒業式で自分におくりたい言葉」について、自分にとって	○6年間をふり返り、自分に贈りたい言葉を選び、友達と伝え合いながら、これからの自分を考えようとしている。
		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

[illegible]

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

令和4年度 評価規準

学校名:江戸川区立第五葛西小学校

